

令和元年度 全国学力・学習状況調査 ～金沢小学校の結果～

令和元年4月18日に6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の調査結果概要をお知らせします。

教科別学習状況調査（全国の正答率と比較して結果に特徴のある問題）

- 【国語】
- 全国平均正答率を上回った問題
 - ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
 - ・目的に応じて、質問を工夫する
 - 全国平均正答率を下回った問題
 - ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む
 - ・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く
- 【算数】
- 全国平均正答率を上回った問題
 - ・示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する
 - ・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する
 - 全国平均正答率を下回った問題
 - ・示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用する
 - ・示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述する

生活習慣・学習習慣 質問紙調査結果（全国の割合と比較して特徴のある設問）

- 【生活について】
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
 - 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
 - 「将来の夢や目標を持っていますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも低い。
- 【学習について】
- 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
 - 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも高い。
 - 「授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか」という設問について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と答えた児童の割合は、全国・神奈川県よりも低い。

授業改善に向けて

- ・語彙力が乏しいこと、学習した漢字が活用できないことが課題です。スキルタイムなどで漢字の定着を図るとともに、様々な文章や表現にふれ、語彙を増やせるようにします。
- ・文章を読んでその内容を適切に理解することができないことが課題です。様々な文章や資料などから、正しく読み取れるようにします。
- ・「自分の考えを明確にしながら読む力」を身に付ける前に、自分の考えをしっかりとつ必要があります。自分の考えを表現することが苦手な児童も多いので、文章や言葉で、自分の考えを表現する機会を増やしていきます。
- ・読み聞かせ、学校司書による支援等を有効に活用し、授業の中で読書を広げる取組を継続し、読書への関心を高めるように働きかけていきます。
- ・計算方法は知っているが、なぜそうなるのか、出た答えは何を求めているものなのかというところまで理解できている児童は少ないようです。計算だけでなく、その過程を大切にし、理解を深めていきます。

児童支援の充実に向けて

- ・日々の生活や学習に加え、児童会の活動においても、友達相互のよさを認め合う場を意図的に設けるようにしていきます。各クラスにおいて、学年においての取組を通して、自己肯定感を高められるようにしていきます。
- ・自分の思いを素直に表現することが苦手な児童が多くいます。自分の思いを表現することの大切さを伝えるとともに、安心して表現できる環境づくりをしていきます。
- ・将来の自分について、夢や目標をもって考える機会を意図的に設けていきたいと思います。自分の力を生かして自信をもってチャレンジできるように、一人一人の思いをとらえて励ましていきます。